



9月6日（水）にコロナ禍で3年間できず、4年ぶりとなった音楽会を開催しました。生徒の歌の力に感動しました。

本 校音楽会の歴史は古く、終戦の翌年の1946年（昭和21年）9月22日に関種子さんというソプラノ歌手を招いて行った音楽会が最初で、現在の合唱の形となったのは、1949年（昭和24年）11月12日に生徒会主催の「全校音楽コンクール」からです。「音楽会」という名称になったのは、1979年（昭和54年）からです。

3 年間音楽会ができていなかったということは、歴史ある行事の積み上げてきた運営のノウハウがわからないということで、生徒会学芸委員会の生徒は大変苦労されたのではないのでしょうか。また、夏休み前から練習していたクラスもあったと聞いています。夏休み中も練習していたクラスは、全員は集まらなくとも練習を重ねていたということです。

ど のクラスも、クラスの特徴を活かした素晴らしいハーモニーを奏でてくれ、耳を澄ませて聴く心地よさを堪能することができました。

審 査員をしていただいた令和2年度まで本校の音楽教員だった平野先生は音楽会終了直後に、「コロナ前の生徒は前例踏襲しか考えていなかったが、今日の生徒はコロナで強くなった。しっかり考えられて運営をしていると感じた」と感想をおっしゃっていました。

また、当日会場でご覧になったある保護者の方は、「(中学校時代に力を入れていた合唱コンクールを見てきて)1年生からの積み上げもあり3年生ともなると、どのクラスも3年間の集大成を披露するので聞き応えがあるのですが、今年の弥生の3年生は“最初で最後”の音楽会だったのに、3年生は“これぞ3年生!”という素晴らしい演奏でした」と感想を述べていました。

生徒たちが真摯に取り組む姿をみて、さわやかで清々しい1日となりました。



開会式での全員の校歌斉唱はよかった！



最優秀賞3年A組 おめでとう！



上から、吹奏楽部、邦楽部、器楽部の演奏



上から、吹奏楽部、邦楽部、器楽部の演奏



音楽会では、はじめて全職員による合唱をしました